

## 5 参 考 资 料

指定届出機関（定点把握対象の5類感染症患者定点医療機関）

平成30年12月31日現在

定点区分	医療機関の名称	所在地	就任日
小児科 (インフルエンザ) 19	医療法人石谷小児科医院	鳥取市上魚町 13	H11.4.1～
	医療法人たなか小児科医院	鳥取市興南町 76	〃
	こどもクリニックふかざわ	鳥取市南隈 565	H24.4.1～
	おくだこどもクリニック	鳥取市湖山町東 3-67	〃
	鳥取赤十字病院（小児科）	鳥取市尚徳町 117	H22.4.1～
	中山小児科内科医院	八頭郡八頭町宮谷 206-9	H11.4.1～
	田中医院	鳥取市青谷町井手 575	H28.4.1～
	医療法人社団荻原医院	鳥取市河原町長瀬 82-1	H11.4.1～
	医療法人社団平本小児科医院	倉吉市山根 637-6	〃
	医療法人まつだ小児科医院	倉吉市新町 3-1178-3	〃
	鳥取県立厚生病院（小児科）	倉吉市東昭和町 150	〃
	医療法人せのおクリニック	東伯郡琴浦町赤崎 1984-10	〃
	こどもクリニックかさぎ	米子市中町 76-2	〃
	医療法人社団白石医院	米子市安倍 129-3	〃
	谷本こどもクリニック	米子市榎原 1888-3	〃
	医療法人同愛会博愛病院（小児科）	米子市両三柳 1880	〃
	ファミリークリニックせぐち小児科	米子市西福原 9-16-26	H23.8.1～
	岡空小児科医院	境港市浜ノ町 127	H11.4.1～
	日南町国民健康保険日南病院（小児科）	日野郡日南町生山 511-7	〃
内科 (インフルエンザ) 10	医療法人安陪内科医院	鳥取市吉方温泉 3-811-2	〃
	鳥取市立病院（内科）	鳥取市的場 1-1	〃
	鳥取県立中央病院（内科）	鳥取市江津 730	〃
	鳥取赤十字病院（内科）	鳥取市尚徳町 117	〃
	のぐち内科クリニック	倉吉市上井町 1-8-5	H29.4.1～
	鳥取県立厚生病院（内科）	倉吉市東昭和町 150	H11.4.1～
	医療法人クリ内科胃腸科クリニック	米子市西福原 6-2-28	〃
	鳥取県済生会境港総合病院（内科）	境港市米川町 44	〃
	医療法人同愛会博愛病院（内科）	米子市両三柳 1880	〃
野口内科クリニック	米子市角盤町 4-5	H23.8.1～	
眼科 5	前嶋眼科医院	鳥取市元町 226	H11.4.1～
	おけがわ眼科	鳥取市叶 293-12	H28.4.1～
	医療法人井東医院	倉吉市上灘町 172	H14.8.1～
	富永眼科医院	米子市富士見町 2-172	H11.4.1～
	ふなこし眼科ペインクリニック	米子市紺屋町 15	H28.4.1～
性感染症 (STD) 7	吉野・三宅ステーションクリニック	鳥取市扇町 176	H20.1.1～
	鳥取赤十字病院	鳥取市尚徳町 117	H11.4.1～
	鳥取産院	鳥取市吉方温泉 1-653	H29.10.1～
	医療法人清生会谷口病院	倉吉市上井町 1-13	H11.4.1～
	山本泌尿器クリニック	米子市車尾南 1-8-32	H20.4.1～
	医療法人同愛会博愛病院	米子市両三柳 1880	H11.4.1～
	脇田産婦人科医院	米子市中町 123-5	H22.8.1～
基幹 5	鳥取市立病院	鳥取市的場 1-1	H11.4.1～
	鳥取県立中央病院	鳥取市江津 730	〃
	鳥取県立厚生病院	倉吉市東昭和町 150	〃
	鳥取県済生会境港総合病院	境港市米川町 44	〃
	鳥取大学医学部附属病院	米子市西町 36-1	〃

## 指定届出機関（定点把握対象の5類感染症病原体定点医療機関）

平成30年12月31日現在

### （1）小児科病原体定点

東部	こどもクリニックふかざわ	鳥取市南隈 565
	鳥取県立中央病院	鳥取市江津 730
中部	鳥取県立厚生病院（小児科）	倉吉市東昭和町 150
西部	こどもクリニックかさぎ	米子市中町 76-2
	医療法人同愛会博愛病院（小児科）	米子市両三柳 1880
	鳥取大学医学部附属病院（小児科）	米子市西町 36-1
	岡空小児科医院	境港市浜ノ町 127

### （2）インフルエンザ病原体定点（指定提出機関）※小児科3、内科2選定

東部	こどもクリニックふかざわ	鳥取市南隈 565
	鳥取県立中央病院（内科）	鳥取市江津 730
中部	鳥取県立厚生病院（小児科）	倉吉市東昭和町 150
西部	こどもクリニックかさぎ（小児科）	米子市中町 76-2
	野口内科クリニック（内科）	米子市角盤町 4-5

### （3）眼科病原体定点

東部	おけがわ眼科	鳥取市叶 293-12
中部	医療法人井東医院	倉吉市上灘町 172
西部	ふなこし眼科ペインクリニック	米子市紺屋町 15

### （4）基幹病原体定点

東部	鳥取県立中央病院	鳥取市江津 730
中部	鳥取県立厚生病院	倉吉市東昭和町 150
西部	鳥取大学医学部附属病院	米子市西町 36-1

鳥取県感染症対策協議会情報解析部会委員名簿(平成 30 年)

機 関 等	職 名	氏 名	備 考
鳥取大学医学部医学科 感染制御学講座 ウイルス学分野	教 授	景 山 誠 二	
鳥取大学医学部	講 師	村 上 潤	
公益社団法人 鳥取県西部医師会	理 事	瀬 口 正 史	
鳥取赤十字病院第二小児科	部 長	松 下 詠 治	
北室内科医院	院 長	北 室 知 巳	
鳥取県立厚生病院	副 局 長	岡 田 隆 好	

## 平成30年感染症発生動向調査概要

### 1 定点把握対象感染症

#### (1)小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点報告疾病

平成30年の報告患者数は25,228件であり、平成29年より1,102件の増加であった。

報告数の多い疾病は、インフルエンザ(44.5%)、感染性胃腸炎(25.2%)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(17.8%)の順であった。平成29年に比較してインフルエンザが著しく増加した(+55.8%)。

1定点・1週当たりの患者報告数で全国平均と比較して高いものは無菌性髄膜炎(2.33倍)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(2.09倍)等であった。

#### (2)性感染症(STD)定点報告疾病

性感染症(STD)定点報告対象疾病の4疾病(性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症)の全報告件数は492件と昨年より16件増加している(P14表5、P16図2-1参照)。

いずれも男性の割合が高く、年齢については、20歳～40歳代に多かった。

#### (3)基幹定点報告疾病

基幹定点報告対象の3疾病(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症)の全報告数は179件と昨年より4件増加している。

### 2 全数把握対象感染症

#### (1)1類感染症

全国、鳥取県とも発生はなかった。

#### (2)2類感染症

鳥取県では、結核66件の報告があった。

#### (3)3類感染症

鳥取県では、腸管出血性大腸菌感染症22件の報告があった。

#### (4)4類感染症

鳥取県では、レジオネラ症18件、つつが虫病5件、A型肝炎3件、E型肝炎2件、デング熱1件、日本紅斑熱1件、レプトスピラ症1件の報告があった。

#### (5)5類感染症

鳥取県では、百日咳61件、梅毒28件、侵襲性肺炎球菌感染症13件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症8件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症7件、アメーバ赤痢6件、急性脳炎(ウエストナイル脳炎・日本脳炎等を除く)5件、破傷風5件、クロイツフェルト・ヤコブ病3件、侵襲性インフルエンザ菌感染症3件、播種性クリプトコックス症3件、後天性免疫不全症候群2件、水痘(入院例に限る。)2件、風しん2件の報告があった。

### 3 病原体検査状況

受入検体件数375件で、多い順に感染性胃腸炎101件、腸管出血性大腸菌感染症73件、インフルエンザ57件、流行性角結膜炎26件、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び無菌性髄膜炎各14件等である。

16疾患を中心に13種類31型(血清型、遺伝子型、遺伝子型および遺伝子群を含む)のウイルス・リケッチア・細菌が分離・検出された。

(1)腸管出血性大腸菌感染

O157 が 1 件、O103 が 2 件分離同定された。

(2)日本紅斑熱

日本紅斑熱リケッチアが 2 件検出された。陽性判定は、すべて遺伝子検査によった。

(3)急性脳炎

コクサッキーウイルス A4 型が検出された。

(4)侵襲性肺炎球菌感染症

すべて非ワクチン株(13 価肺炎球菌結合ワクチンに係る)であった。

(5)風しん

風しんウイルスが 1 件検出された。

(6)咽頭結膜熱

アデノウイルス 9 件が分離・検出された。

(7)A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A 群溶血性レンサ球菌が 3 件分離された。

(8)感染性胃腸炎

ノロウイルス、サポウイルス、A 群ロタウイルス、アデノウイルス 40/41 型が検出された。ノロウイルス G II 型が 23 件と最も多かった。

(9)手足口病

エコーウイルス 18 型が 2 件等分離・検出された。

(10)ヘルパンギーナ

コクサッキーウイルス A4 型が 3 件等分離・検出された。

(11)インフルエンザ(インフルエンザ様疾患も含む)

2017/18 シーズンに AH3 型は 21 件、A(H1N1)2009 型は 13 件、B 型山形系統が 24 件、B 型ビクトリア系統が 1 件検出された。2018/19 シーズンに AH3 型は 20 件、A(H1N1)2009 型は 10 件、B 型ビクトリア系統が 1 件検出された。両シーズンとも、A(H1N1)2009 型についてタミフル耐性遺伝子は検出されたものはなかった。

(12)流行性角結膜炎

アデノウイルス 20 件が分離・検出された。そのうち、54 型が 14 件と最も多かった。

(13)無菌性髄膜炎

エンテロウイルスが 5 件等分離検出された。

(14)RS ウイルス感染症

RS ウイルスが 4 件検出され、3 件は B 亜型、1 件は A 亜型であった。

(15)水痘

ヘルペスウイルス 3 が 2 件検出された。